

第1当事者から見た類型別死亡事故件数

警察庁交通局は交通事故を人対車両、車両相互、車両単独の三つに分類しています。ここでは交通死亡事故が起きた際の状況を推察するため、交通事故総合分析センター発行の交通統計の数字を平成30年度に起きた交通死亡事故件数を第1当事者が運転していた車両別（自動車、自動二輪、原動機つき自転車）に、かつ事故類型別にまとめました。

我が国は死亡事故件数を24時間死者に限っているのが救急救命医療の発達にともない交通事故死者は減少傾向にあります。単独事故による死亡率は高止まりのままであり、本来なら避けられる交通事故を起こさないためにも運転技術を見直すことや、運転中に集中力を保つ努力が求められているのではないのでしょうか。もちろん、車両対人、車両対車両の事故も起こさないにこしたことはありませんが。

数字を見ていくとどういう状況で交通死亡事故が起きているか推察できます。あなた自身はどんな運転をしていますか。

事故累計		当事者		自動車		自二		原付		
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
独 車 単 独	工 作 物 衝 突	電柱	78	13.8%	6	3.9%	7	5.0%		
		標識	14	2.5%	1	0.6%	2	1.4%		
		分離帯等	28	5.0%	16	10.3%	4	2.8%		
		防護柵等	112	19.8%	40	25.8%	6	4.3%		
		家屋・塀	44	7.8%	1	0.6%	1	0.7%		
		橋梁・橋脚	13	2.3%	2	1.3%	1	0.7%		
		その他	89	15.8%	29	18.7%	7	5.0%		
		工作物衝突計	378	66.9%	95	61.3%	30	21.3%		
		駐車車両衝突	19	3.4%	3	1.9%	3	2.1%		
	路 外 逸 脱	転落	106	18.8%	6	3.9%	10	7.1%		
		その他	24	4.2%	3	1.9%	1	0.7%		
		路外逸脱計	130	23.0%	9	5.8%	11	7.8%		
	転倒	3	0.5%	43	27.7%	7	5.0%			
	その他	35	6.2%	5	3.2%					
	車両単独計		565	100.0%	155	100.0%	141	100.0%		

車 対 車 対 車 対 車 対 車	正 面 衝 突	追越・追抜	11	1.0%	2	2.2%				
		その他	294	27.4%	17	19.1%	5	6.4%		
	正面衝突計		305	28.4%	19	21.3%	5	6.4%		
	追 突	進行中	90	8.4%	11	12.4%	3	3.8%		
		駐・停車中	71	6.6%	11	12.4%	9	11.5%		
	追突計		161	15.0%	22	24.7%	12	15.4%		
	出会い頭衝突	281	26.2%	12	13.5%	48	61.5%			
	追越・追抜時衝突	33	3.1%	7	7.9%					
	進路変更時衝突	22	2.1%	2	2.2%					
	すれ違い時衝突	9	0.8%	8	9.0%					
	左折時衝突	52	4.8%							
	右折時衝突	142	13.2%	16	18.0%	13	16.7%			
	横断時衝突	3	0.3%							
	転回時衝突	9	0.8%							
	後退時衝突	8	0.7%							
	その他	48	4.5%	3	3.4%					
	車両対車両		1073	100.0%	89	100.0%	78	100.0%		

事故累計		当事者		自動車		自二		原付		
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
人 対 車 対 車	交 通 行 対 面	歩道上	1	0.1%						
		路側帯	2	0.2%						
		車道	23	2.2%						
		交差点内	1	0.1%						
		その他								
		対面通行計	27	2.6%						
	背 面 通 行	歩道上	3	0.3%						
		路側帯	5	0.5%						
		車道	68	6.5%	1	4.8%				
		交差点内	5	0.5%						
		その他								
	背面通行計	81	7.7%			1	4.8%			
	中 新 横	横断歩道	207	19.8%	4	19.0%	4	50.0%		
		横断歩道付近	90	8.6%	3	14.3%				
		横断歩道橋付近	4	0.4%						
その他		404	38.6%	11	52.4%	4	50.0%			
横断中計		705	67.4%	18	85.7%	8	100.0%			
路上遊戯中	2	0.2%								
路上作業中	32	3.1%								
路上停止中	36	3.4%	1	4.8%						
路上横臥	89	8.5%								
その他	74	7.1%	1	4.8%						
人対車両計		1046	100.0%	21	100.0%	8	100.0%			

※平成30年度版 交通統計からの抜粋

第一当事者とは、最初に交通事故に関与した車両等の運転者または歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。